

9団体の商品15点を更新

第3次柳井ブランド認証書授与式

地元の特産品や土産品の活性化を図ろうと、平成23年1月からスタートした「柳井ブランド」柳井市地域ブランド推進協議会は、このほど、前回認証から3年が経過した第3次認証品の15商品(9団体)を更新し、22日、市文化福祉会館で認証書授与式を行った。

この事業は、市の優れた地域資源を柳井ブランドとして認証し、その販売を支援するとともに、情報発信を通じて観光客の誘致を促し、地域経済



の活性化を図ろうと、平成23年1月からスタートさせた。「きんさい柳井」を地域ブランド名に、ブランドメッセージを「金魚ちようちん映ゆる 白壁の町 瀬戸内 柳井」とし、23年7月の第1次認証で26点(商品12点、地域資源14点)、24年3月の第2次認証で5点(商品4点、地域資源1点)、25年2月の第3次認証で19点(商品17点、地域資源2点)、26年3月の第4次認証で13点(商品13点)を決定。今回の更新や廃止を含め、柳井ブランドの認証品は全58点(商品41点、地域資源17点)となった。

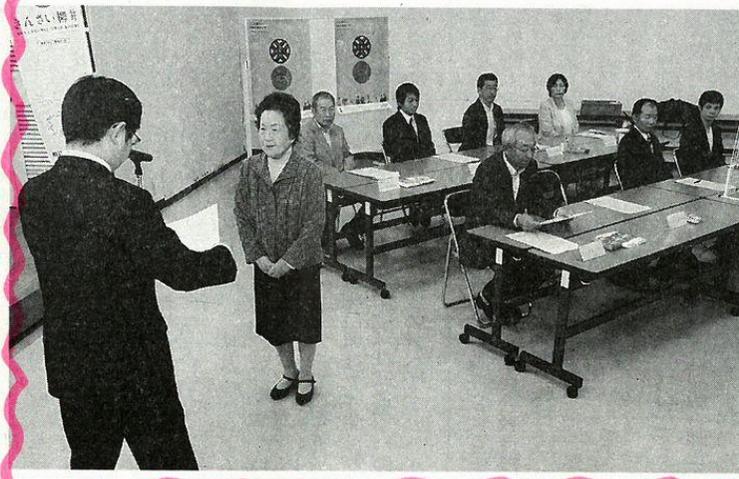
今回の第3次認証更新では、有効期限のない地域資源2点と商品の廃止1点を除く、16点の申請があり、審査を経て、協議会で更新決定。申請のうち、2点を1認証物としたため、更新は15点となった。

この日の式には、認証を受けた8団体の関係者が出席。協議会長の井原健太郎市長は、一人ひとりに認証書を手渡した後、「柳井ブランドは、地域にあるものにスポットライトを当て、県内外にPRしていくもので、今回、15点を更新した。これから地域を見直し、ふるさとを良くして柳井で誇れるものを発信していきたい」とあいさつした。

更新された第3次認証品は次の通り。

【商品】  
 ◎やない金魚米(赤米を楽しむ会、北村富夫代表)  
 ◎やない金魚(同)  
 ◎お願い金魚(関連商品やない自遊倶楽部、坪野ミチ子代表)  
 ◎ちりめん金魚ちようちん(難波工房、難波宏彰代表)

◎自然薯そば(白壁の映山)



い花を咲かせているとい

は梅雨時と重なるため、

山田映子社長  
 ◎自然薯冷麺(やまくち自然薯生産組合、岩政幸人代表理事)  
 ◎自然薯うどん(同)  
 ◎自然薯ドーナツ(エムテックス、原田浩治社長)  
 ◎自然薯たんこ汁醤油味噌(同)  
 ◎町並の白壁(華月堂、河村勉社長)  
 ◎獨歩(同)  
 ◎やない優美蒔絵ペン(阪賞文堂、木阪泰之社長)

◎すもじヤム(柳井市生改連大島特産加工開発部、山縣啓子代表)  
 ◎みかんジャム(同)  
 ◎うずしお味噌(同)  
 【地域資源】(有効期限なし)  
 ◎「あ、ご心配です(言葉、方言)」(民俗文化財)  
 ◎平郡三景(自然及び景観)  
 (写真上は第3次認証更新を受けた関係者。下は井原市長から認証書を受け取る関係者)

全日本学童軟式野球柳井支部予選大会 2・3日

柳井市野球連盟主催の「高田宮賜杯」第36回全日本学童軟式野球大会・マクドナルドトーナメントと「第37回山口県学童選手権大会兼宮本和知旗争奪野球大会」の柳井支部予選大会が4月2、3日の両日、市民南浜A・Bグラウンドで行われる。大会には、連盟所属の9チームが出場。大会初日の2日は1、2回戦5試合が、3日は準決勝と決勝、3位決定戦の4試合が行われる。

なお、上位3チームには、全日本学童軟式野球県大会(5月21、22、28日)に山口市の西京スタジアムなどで開催、柳井から1チーム、または県学童選手権東部大会(4月23、24日)、柳井市開催、柳井から1チーム、同西部大会(同)、長門市開催、同への出場権が与えられる。

(柳井予選の組み合わせは別表の通り)

2日 12:00B
2日 9:00B
3日 9:00OB
2日 10:30B
3日 12:00B
2日 9:00A
3日 10:30B
2日 10:30A
3日 12:00A

\*3位決定戦は3日12:00A  
 \*B=南浜B、A=南浜Aグラウンド

柳井市スポーツ 4月

【ピジコム柳井スタジアム(市民球場)】  
 ▼2・3日(土・日)中国新聞社旗ミスノ杯争奪第13回ヤングリーグ少年硬式野球山口大会  
 ▼9日(土)2016ホークスカップ中学生硬式

柳井日日新聞  
 平成28年3月31日号